

2026年度湘南ヘルスイノベーションパークの 環境保全に関する連絡会議議事要録

日 時 2026年（令和8年）7月1日（水）13時00分から
場 所 湘南ヘルスイノベーションパーク会議室
出席者 村岡地区自治町内会連合会、小塚町内会、小塚東町内会、高谷町内会、
宮前町内会、渡内町内会、渡内北町内会及び渡内西町内会の代表
アイパークインスティテュート株式会社社員、
株式会社KJRマネジメント社員
藤沢市役所 村岡市民センター及び環境保全課職員

議題・内容

1 あいさつ

町内会、藤沢市、アイパークインスティテュート株式会社の代表者あいさつの後、次第に従って進められました。

2 議題

（1）藤沢市からの報告

この1年以内では昨年6月に市民団体からご要望・ご質問を受けております。内容については、アイパークの操業内容や周辺環境、安全対策に関するもののほか、市の施策に関する内容でしたので、湘南ヘルスイノベーションパーク様に質問内容をお伝えし、市からの回答と合わせて市民団体にお渡ししました。今後ご意見などにつきましては、必要に応じて、湘南ヘルスイノベーションパーク様にお伝えするなど、相互の理解が進むよう橋渡しをしてまいります。

次に市議会でのご質問についてご説明いたします。湘南ヘルスイノベーションパーク様における環境保全に関連した陳情、請願はありませんでしたが、昨年9月決算特別委員会と今年2月予算等特別委員会で、日本共産党の市議会議員の方から質問があり、答弁いたしました。資料には、藤沢市議会の会議録を抜粋し記載しております。なお、この会議録については、藤沢市議会のホームページで検索できるようになっております。

その内容ですが、昨年同様、運営体制の状況や立入検査の実施状況、連絡会議の開催状況のほか、環境安全対策や安全協議会の設置などの質問がございました。

主な答弁内容ですが、まず、湘南ヘルスイノベーションパークの運営体制が変更になったことに関する対応状況については、2025年度は、安全管理等について受託しているアイパークインスティテュート株式会社が責任をもって運営していることを立入検査において、書面等で確認しており、責任体制のほか、環境保全に関する協定における事業者の責務、防災環境パトロールの記録、安全衛生・環境保全教育実施の記録や排水測定記録等につきまして、帳簿等により確認、検査を行い、適切に運営管理が行われていることを確認していることを答弁しております。

連絡会議の開催状況につきましては、地元町内会のご協力を得まして、藤沢市と

湘南ヘルスイノベーションパークとで開催していることを答弁しております。

また、もっと広く市民が参加する協議会の設置については、このような連絡会議という形で周辺町内会の皆さんと意見交換しコミュニケーションを図っており、その内容について関係町内会への回覧や、市政情報コーナーへ配架して誰もが閲覧できるよう情報公開に努めており、湘南ヘルスイノベーションパーク様自身も住民の皆さんとコミュニケーションに努めており、現状の連絡会議で十分であるという答弁をしております。

議会では、安全について多く質問がありましたので、今後とも市としましては、こちらに記載のとおり、住民の皆様に安心していただけるよう、立入検査等を通して安全について確認してまいります。

最後に、本市の立入検査の結果について記載をいたしました。昨年度は、2月24日に実施しました。安全管理体制、湘南ヘルスイノベーションパーク総合利用規約のほか、防災環境のパトロール記録や、安全教育の内容や、法令に基づく測定結果などについて、帳簿などにより検査いたしました。内容について問題はなく、現状においては施設の安全体制は確保できていることを確認しております。藤沢市からの報告事項につきましては、以上となります。

(2) 湘南ヘルスイノベーションパークからの報告

1) 2025年度「環境測定結果報告」

環境保全協定に基づいた環境測定の5項目、排水、排気、騒音、振動、臭気を記載しております。排水については一番環境に影響があることから、年間通じて測定をしております。排気については、エネルギー棟にあるガスエンジン、ボイラーの排ガスを9月と3月に測定しております。騒音振動については、敷地の境界線で年に4回、5月8月11月2月に測定しております。臭気については、年に1回、最も匂いが強くなる8月に敷地境界4か所で測定しております。

排水データは年間12ヶ月測定しており、代表的なデータとして最小値と最大値を記載しております。緑色の枠は環境保全協定に記載している基準管理目標です。1月8日に銅およびその化合物の濃度が、この管理目標値0.5であるところ0.51という超過をいたしました。が、法令基準値の1mg/Lは超えておりません。

その他、シアン、鉛、六価クロム化合物、砒素、ヒ素など、超過はありませんでした。水銀および塩素系の有機溶媒などは全て管理目標値以下となり、銅及びその化合物以外は年間を通じて管理目標を超えることはありませんでした。

銅の基準超過についてご説明いたします。1月8日に、アイパークの排水モニタリングで発覚し、原因調査したところ、毎月実施しているボイラーの洗浄廃液が十分希釈されないまま排水に流れたのが原因だということがわかりました。藤沢市環境保全課に報告し、今後この廃液は回収して産業廃棄物として処理することにいたしました。ボイラーそのものには銅は含まれていないのですが、各実験室や事務室の空調装置の熱交換器に銅が使用されており、そこを通過した水がまたボイラーに戻ってきて蒸気になることを繰り返すと、銅がボイラーの中に溜まってしまい、これが排水に流れたものです。

排ガスについては、ボイラーが 30 台あり蒸気を作っております。年間 2 回 9 月と 3 月にばいじんと窒素酸化物（NO_x）を測定しております。結果は全て管理目標以下でした。ガスエンジンについては、都市ガスを燃焼して発電を行っております。こちらにも年に 2 回、ばいじんと NO_x を測定しており、管理目標以下でした。またボイラー 1 台とガスエンジンの 2 号機が、この 3 月の測定時に運転停止しており、測定出来ませんでしたが、運転再開前に測定をし、問題ないことを確認してから再稼働する予定です。

騒音は住宅地域、工業地域と基準値が異なりますので、条件に合わせて測定を行っております。時間帯としては、朝昼夕方夜と四つの時間帯でそれぞれ基準値が違いますので、それぞれで測定を行っております。年間 4 回測定を行った結果、全て管理目標値以下でした。なお、昨年度は、セミの鳴き声で 8 月に基準超過になりましたので、比較的まだ虫の声がうるさくない 7 月に測定ができるよう、今年度から、4 月 7 月 10 月 1 月に測定月を変更いたします。

振動も同じ場所で、こちらは昼と夜で基準値が異なりますので、それぞれ測定を行っております。こちらにも測定の結果全て管理目標以下となりました。

臭気は、臭気指数という、人が匂いを嗅いで、どれぐらい希釈したところまで判定できるか、匂いがわかるかという指標で測定をしております。8 月に測定を行いまして、10 未満で全て管理目標以下になりました。

土壌調査の結果です。東側の駐車場があり、こちらに新しい建物を建設予定です。建設前に基礎などを作るために土を掘りますので、法に従って土壌調査を実施いたしましたところ、六価クロムと砒素の溶出量基準の超過がありました。特に六価クロムは広い範囲で見つかりしております。六価クロムについては 2020 年に武田薬品から今のオーナーに土地を売却した際にも、道路の下の路盤材から基準超過が確認されております。これは武田薬品の湘南研究所を建設する際、湘南工場を取り壊したときのコンクリートガラを路盤材として使ったところ、その路盤材に六価クロムが含まれていたということで、今回も同様に駐車場のアスファルトの下から広く見つかりしているという結果です。砒素については数ヶ所で超過が見られておりますが、こちらについては自然由来による超過であると考えております。建設前に土壌の入れ替えを行い、健康被害等が出ないように施工いたします。また汚染物質が拡散しないよう、土壌の入れ替え中にはカバーをかける、風で飛散しないような散水、工事車両のタイヤ洗浄等を実施いたします。

地下水については自主的に分析を行っており、敷地の周辺 10 ヶ所の井戸で年に 4 回、4 月 7 月 10 月 1 月に測定しております。結果は例年とほとんど変わらない値となり、No. 2、No 7、No 1、No 8 の 4 ヶ所でフッ素の基準超過となっております。道路や駐車場の下で基準超過となった六価クロムについては検出限界未満であり、地下水に拡散することは起きていないと考えております。またヒ素については 1 ヶ所で検出されておりますが、環境の基準値未満で問題ないと考えています。鉛についても全て検出限界未満ということで問題ないと考えております。今後も年に 4 回、モニタリングは継続してまいります。

次にテナントの毒物管理不整合ということで化学物質の管理で問題がありまし

たのでご報告いたします。経緯といたしましては、アイパークに入居のシンクレスト株式会社というところで、三塩化ほう素の使用量と残存量に不整合が発覚し、調査をおこなったところ、社内の管理帳簿が適切に付けられていなかったというもので、外部へ持ち出す等の流出はないと考えております。藤沢市保健所に最終報告書を10月に提出し受理頂きました。事件性はないと判断されております。アイパーク施設管理者としては、テナントにおける毒劇物の管理状況は定期的に管理する運用を今後も強化し、安全管理体制の向上に努めてまいります。毒劇物の三塩化ほう素ですが、物性としては空気中の水分に触れると分解するもので、冷蔵保存が必要な物質ですので、その特性からも持ち出しが難しいものでありますので、事件性はないと判断しております。

ここから生物実験に関する報告になります。例年同様の資料にはなりますが、アイパークの中に設置している委員会のご報告です。

生物実験に関しては主に遺伝子組換え実験のバイオセーフティ管理と、動物実験の管理をしております。いずれもそれぞれの専門委員会では計画書を審査し定期的な調査もおこない運用しております。また、生物実験を行う実験者は、導入時の教育と年次の教育も義務づけております。

委員会による報告書ですが、実施後の報告に関しての確認と定期的な実験室の確認をおこなっています。また、実験廃液については、回収し不活化処置を行った上で、産業廃棄物として外部処理をしております。

動物実験に関しては、倫理的な配慮が必要であるため、当施設では、国際的な第三者評価機関であります AAALAC インターナショナルによる第三者認証を取得しております。初回認証が2012年で、3年ごとの審査を経て現状でも完全認証を維持しております。動物の死体は、全て外部委託で処理をしております。

続きまして2025年度の実施状況の報告です。まずは遺伝子組換え実験のバイオセーフティ管理について、特に大きな問題はございませんでした。全ての対象者の導入教育、定期教育を実施しております。外部環境への漏出事例も発生しておりません。環境保全協定に抵触する生物材料も使用がないことを確認しております。動物実験に関しましても、全ての対象者への導入教育と定期教育を確認しております。

また全体のサマリーの中でもございました AAALAC インターナショナルの認証更新調査ですが、こちらも昨年度に完了し、機関から完全認証をいただきましたので、引き続き動物の倫理に配慮した実験を継続してまいります。

資料の20頁、21頁は、遺伝子組換え実験、バイオセーフティ管理と動物使用実験の仕組みになりますが、いずれも、各社からの申請をアイパークが管理する委員会で審査し、管理をしております。生物実験に関する報告は以上です。

2) 湘南ヘルスイノベーションパークの近況

アイパークの近況をお知らせします。こちらはアイパークに入居の会社団体のロゴマークです。去年まで常駐者2500人と報告させて頂いていましたが、一気に1000人増えたのは、カウント方法を変更したためです。従来は常駐者登録数でしたが、コロナ以降勤務形態が多様になり、入館証カードの発行枚数でカウントすることに

いたしました。メンバーシップという形でアイパークのコミュニティに参加いただいている企業、団体が220社あり、順調に増えてきており、製薬企業、創薬ベンチャーなどが中心になります。

アイパークの代表的な活動が、春と秋に開催しているイベントで、5月21日に開催しましたアイパークフェスタ、今年の11月21日に予定しているウェルビーイングフェスタの二つのイベントです。アイパークでの研究内容を知っていただく場が春フェスタです。生命科学に興味があり、これから研究者になりたいと思っている中学生や高校生の皆さんに、直接研究者の方たちと触れ合って知っていただくというのが大きな目的の一つになっております。もちろん皆さん来ていただいてもアイパークの中身がよくわかる仕組みになっております。

秋の方は、皆さんの健康がテーマです。アイパークが地域に対して、皆さんに対してできることは、やはり皆さんの健康に貢献することではないかということで、健康寿命をどのように伸ばしていけるか、そのようなテーマでウェルビーイングフェスタを開催しております。

資料25頁は春のアイパークフェスタの様子です。子供向けトークショーや中高生のサイエンス発表、展示、小さなお子さんも親子連れで楽しんでいただける趣向にしております。資料26頁はウェルビーイングフェスタです。

アイパークフェスタは、今年は2800人の方々に来ていただいております、ウェルビーイングフェスタも約1600人の方に来ていただきました。ウェルビーイングというのは社会的にも肉体的にも精神的にも満たされた状態ということで、幸せの定義のような言葉です。歌ったり、踊ったり、自分の好きなパフォーマンスをするという楽しみは、まさにウェルビーイングの一つであり、その体験ができるということで大変好評頂いています。この活動が始まった背景は、新しいまち作りが新駅を中心に始まっていくなかで、このエリアにどのような特徴づけがあるといいだろうかという検討を重ねました。製薬企業・研究組織の集合体であるアイパークと、隣接する湘南鎌倉総合病院という二つの特徴を活かしたらどうかというアイディアが出て、新たなヘルスイノベーションが生まれるまちという発想が生まれました。それをここに住む人、来る人、働く人、皆さんが享受できるようなそんなエリアにしていこうということで、黒岩知事をはじめ、両市長、湘南鎌倉の院長とアイパーク代表の5者で覚書を結びました。

村岡深沢最先端ヘルスイノベーション拠点構想は、新湘南ウェルビーイング活動と名付け、2024年に新湘南ウェルビーイングコンソーシアムを設立しました。

次の資料ですが、実際どのようなことがヘルスイノベーションを起こし、DXを用いた改革や、その技術革新が我々の生活にどう影響を及ぼすかを考えたときに、例えば健康診断で、健康データを自分のスマホに落としておくことで、昨年のデータとの比較ができるようになります。画像等もこれからは胃カメラなどの検査画像データが、スマホで見られる時代にいよいよなっけてまいりました。健康データが身近にあると、もうちょっと走ってみよう、歩いてみようというような生活習慣の行動変容が皆さんの中に起き、1年後の検診が楽しみ、というような状態になることを私たちは望んでいます。そんな健康に留意する方が増えてくるエリアになるでは

ないか、あるいは、ご自分のことばかりではなく、小さなお子さんあるいはこれから生まれてくる命、遠くに離れて暮らすご家族の健康状態も、これからはご本人の承諾さえあれば見られるようになっていきます。また、救急や災害時でも、その方の健康データがたちどころにわかる仕組みは、命にかかわる大切なことだと思いますので、病院や役所や自身のスマホにあるバラバラな自分の健康データを全部統一して自分で管理し、必要に応じて自分で出してサービスを受けられるような、そんな社会が来ることを、私達が今このエリアの皆さんと一緒に進めていきたいヘルスイノベーションの一例です。

そのような活動を今年は2月くらいから、ウェルビーイングフェスタやアイパークフェスタにご協力いただける皆さんからお声掛けしているところです。渡内町内会長様には当初からお知恵を借りたりしながら参加いただいておりますが、順番に人数を増やして、このような仕組みを作ろうとしています。実はまだ仕組みはできておりません。厚労省からの補助金を活用し、珍しい取り組みを始めますので、協力をお願いするなどをしながら活動をしていますので、ご興味のある方は是非一緒に作って頂けたらと思います。

企業の参加もだんだん増えてきております。このような仕組みを作ったので、使ってくださいではなく、こんな仕組みがあるときっと私達の生活の安心ですね、ということと一緒に創る、すなわち共創していけたらと思っております。11月のウェルビーイングフェスタは、自らの健康をどのように自分で管理していくかをテーマとしてウェルビーイングフェスタをやりたいと思っておりますので、ご興味のある方は是非参加いただければと思います。

第1回目、2回目と参加してくださる人数増えてきまして、今週の土曜日に5回目を開催いたします。今までのワークショップに加えて、いろいろ測れる機器をそこに揃えて準備していただいております。今回測定ということで、いろいろな企業に来ていただく予定です。時計型のデバイス使ってらっしゃる方多いと思います。時計だと少しストレスというところでリング形のものや、付けなくてもその場で簡単に測れます、というように簡単に測れるとことをキーワードにした企業様も多く呼んでいます。是非皆様から、これだったら使いやすいなとか、これだったらちょっと使いづらいなというコメントを望んでいる企業も多いかと思っておりますので、忌憚なき意見を言って頂いて参加していただきたいと思っております。

未病テクノフェスタでは、測定機器なども揃えた上で、同時開催のワークショップでは、ウェルビーイングフェスタをどうやってみなさんと一緒に作っていきましようか、というディスカッションをキックオフできればと思っております。興味あるあるいは都合がつくという方はお誘い合わせの上お越しいただければと思います。こちらの中にQRコードがございますので、そちらから参加の予約ができる仕組みになっております。よろしく願いいたします。

次は、通常以外の活動ですが、ボランティア清掃を、村岡市民センターの皆さんにご協力いただき、年2回させていただいております。また、オレンジランプという認知症の本人目線の普及のための映画を市民センターでさせていただき、好評でございました。

地域社会等の取り組みについては、アイパーク 3000 人を超える入居の方へ、地元のお店を紹介して盛り上がっていただくということで、食堂の前にご案内を昨年からは出してしまして、これも好評の企画になっております。それから、学生服のリユース活動されている方から、是非アイパークの入居の方もご協力いただけないか、ということで試しにやってみました。地域社会との取り組みということで、夏休みの科学教室を開催させていただいたのですが、村岡市民センターと共催で、村岡地区の小学校 4 年生から 6 年生を対象にした活動を企画させていただいています。

資料の説明は以上になります。最後に、このアイパークのお問い合わせ窓口には、最近大変多くの方にいろいろなお問い合わせをいただいております。電話というのは私達もフォローが漏れてしまうことがありますので、是非ホームページの方をご活用いただければと存じます。ありがとうございます。

3 質疑

町内会：1 月の銅及びその化合物が基準値を上回る報告だったが、その後の 2 月 3 月の結果はいかがだったか。

アイパーク：2 月 3 月は基準未満で問題ございません。これ以降ボイラー排水は産業廃棄物として別途回収していますので、銅の濃度としては下がっております。

町内会：その後の経過まで資料に書いてください。また、騒音や振動の測定はだれがやるのか。

アイパーク：アイパークが業務委託する会社が、法定に従った方法で測定します。

町内会：その委託会社の方々が測定器を持ってきて測定するのか。

アイパーク：排水については水を汲んで持ち帰って分析いたします。騒音振動は、現場で測定いたします。

町内会：測定器は委託会社がもってくるのか。

アイパーク：はい。

町内会：測定器の校正や検定まで確認しているか。

アイパーク：検定までは確認してはおりません。適切に測定されていると考えております。

町内会：今後は確認してもらいたい。藤沢市も監査時に確認してもらいたい。

藤沢市：市としても確認していききたいと思います。

町内会：災害時に想定される問題や、あるいは周りの影響、被害など、対策はたてているか。

アイパーク：研究で使用する危険物や生物材料がありますので、物理的な封じ込め、液体の漏えい対策を実施しております。

町内会：震度はどれくらいまで対策しているか。

アイパーク：震度 5 強以上が発生した場合にはすぐに現地対策本部を立ち上げ、安全確保や避難者の状況確認等対応が取れるよう整えてあります。

町内会：水害はいかがか。例えば川の氾濫など。

アイパーク：大雨の際には柏尾川の状況を随時確認しております。津波は警戒区域から外れております。

町内会：フェスタの活動に関して、大変ありがたいと思っております。可能であれば市民センターの一角などで日常的に触れられる場所で健康測定できる場所があればいいと思います。

アイパーク：アイパークの中で年2回の大きなイベント以外に、今回の未病テクノフェスタなどを頻回開催していくことも考えていました。従って他所への設置というのはまち全体への広がりという点で今後検討課題の一つに加えていきます。

アイパーク：ご報告漏れておりましたが、前回北門の照明に関して御指摘をいただいております。今月中に照明の追加工事を予定しておりますので報告をさせていただきます。

以 上